

濱崎宏則研究室 (環境ガバナンス・水資源管理政策)

教員名：濱崎 宏則

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

環境問題は、私たち人間の行為・活動によって引き起こされています。ある環境問題を解決するために、規制を設け特定の行為・活動を制限しようとするとき、それによって恩恵を受ける人々と、逆に損害を被る人々が出てきます。このような利害の対立が、環境問題の解決を難しくしている要因のひとつとなっています。

この研究室では、水の利用や配分、開発などの問題を中心として、特定の環境問題において、誰が利害関係のある当事者なのか、その人々や組織がどのように関係しているのかを分析します。そのうえで、その環境問題の解決に向けては、どのような政策や制度が求められるのか、それによって環境問題はどのように改善されるのかを考察し、具体的な提言としてまとめ、社会に発信します。

トルコでは、農業用水に関連して、水や化学肥料、農薬の使いすぎによる環境への影響が懸念されています。カンボジアでは上流のダム建設のために洪水が発生し、下流の住民の生活を脅かしています。このような問題について、インタビューやアンケートによる調査を行い、得られたデータを解析していきます。



農業用水では、農家や水利組合、各種政府機関に聞き取りをします（トルコ）



ダム開発をめぐるっては、下流の住民や生態系に大きな影響が出ています（カンボジア）

● 先輩はどんなところに就職しているの？

これまでは公務員やマスコミに就職しています。2年間の研究活動を通じて問題発見力や論理的思考力などを培うとともに、人を魅せるための文書作成・プレゼンテーションスキルを磨くなど、実社会で通用するスキルを修得することも目指しています。